

横浜市・千葉市間の東京湾縦断ドローン長距離飛行を実施します！

千葉市では、配達時間の短縮等による利便性の向上や、物流業界が抱える人手不足、ラストワンマイルの問題、配送コストの削減等の課題解決を目的として、都市部におけるドローンを活用した宅配サービスの実現を目指し、平成28年から各種実証実験を行っています。

このたび、一般財団法人先端ロボティクス財団（理事長 野波健蔵氏）による、横浜市・千葉市間（約50km）の東京湾縦断飛行を、飛行レベル3（無人地帯での目視外・自律飛行）にて実施しますのでお知らせします。

1 東京湾縦断飛行の概要

(1) 実施日時

・令和3年6月21日(月)

（予備日：6月22日(火)、23日(水)）

※気象条件により延期の場合があります。

・9:00（横浜発）～10:00頃（千葉着）

※飛行状況により到着時刻は前後します。

(2) 飛行区間

E S R 横浜幸浦ディストリビューション
センター計画地 → 稲毛海浜公園

(3) 実施主体 一般財団法人先端ロボティクス財団

(4) 使用機体 カイトプレーン



【カイトプレーン概要】

- ・サイズ：約297cm（全幅）
- ・飛行時間：約2時間（積載無しの場合）
- ・飛行速度：28～60km/h
- ・耐風性能：10m/s
- ・最大積載量：5kg



2 経緯

国・民間企業・本市による「ドローン宅配等分科会」及び「技術検討会」を設置し、ドローン宅配実現に向けた実証実験に関する協議等を行っており、本案件については、座長である野波健蔵氏自らが先導するプロジェクトとして進行してきました。

3 取材について

着陸予定地である稲毛海浜公園での取材を希望される方は、別紙に必要事項を記載の上、6月18日（金）正午までに、国家戦略特区推進課あて、FAX又はメールにてご連絡ください。

【FAX】043-245-5551

【E-Mail】tokku.POF@city.chiba.lg.jp

※離陸場所及びその周辺エリアは、私有地のため立ち入りや撮影等はできません。離陸時の写真が必要な場合には、横浜市が事前に撮影したデータを提供できます。

本件については横浜市も同時記者発表しています。

【参考1】小型無人機の飛行レベル

レベル1	目視内での操縦飛行
レベル2	目視内での自動・自律飛行
レベル3	無人地帯※での目視外飛行（補助者の配置なし） ※第三者が立ち入る可能性の低い場所（山、海水域、河川、湖沼、森林等）
レベル4	有人地帯（第三者上空）での目視外飛行（補助者の配置なし）

【参考2】一般財団法人先端ロボティクス財団概要



先端ロボティクス分野における若手人材育成を目的として、ドローン関連コンペの開催や研究助成等を行うなど、ドローン産業分野・先端ロボティクス産業分野の発展に資する活動を行っている。

名 称	一般財団法人先端ロボティクス財団
所 在 地	東京都中央区新富2-1-7 富士中央ビル6階
理 事 長	野波 健蔵（千葉大学名誉教授・日本ドローンコンソーシアム会長）